

2020年12月期 決算説明資料

2021年2月8日
サイバーコム株式会社
東証一部 <3852>

I . 2020年12月期の決算内容	P 3
1. 決算概要	P 4 ~ 5
2. 営業利益増減分析	P 6
3. セグメント別業績	P 7
4. 貸借対照表	P 8
5. キャッシュ・フロー	P 9
6. 株主還元	P 10
II . 中期経営方針と業績予想	P 11
1. 中期経営方針	P 12
2. 業績予想	P 13
3. 株主還元（予想）	P 14
III . 参考資料	P 15 ~ 18

I . 2020年12月期の決算内容

1. 決算概要

2020年12月期 実績（計画比較）

（単位：百万円）

	計画 (20/01-20/12)	当期実績 (20/01-20/12)	増減／計画比	
売上高	15,000	13,672	▲1,327	▲8.9%
営業利益	800	827	+27	+3.5%
営業利益率	5.3%	6.1%	—	—
経常利益	800	842	+42	+5.4%
経常利益率	5.3%	6.2%	—	—
当期純利益	540	549	+9	+1.7%
当期純利益率	3.6%	4.0%	—	—
1株当たり 当期純利益	67.32円	68.45円	+1.13円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	10.2%	10.4%	+0.2%	—

◇売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりシステム開発時期の延伸や中止が発生し、主力のソフトウェア開発事業での影響が大きく出たことで136億72百万円（計画比8.9%減）と**計画を下回る結果**となりました。

◇営業利益は、原価低減に加え各種イベント開催の見送り等による経費の減少により8億27百万円（計画比3.5%増）と**計画を上回る結果**となりました。

◇当期純利益は、5億49百万円（計画比1.7%増）と**計画を上回る結果**となりました。
なお、新型コロナウイルス感染症対策費用として40百万円を特別損失に計上しております。

1. 決算概要

2020年12月期 実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前期 (19/01-19/12)	当期実績 (20/01-20/12)	増減／増減比	
売上高	13,967	13,672	▲295	▲2.1%
営業利益	746	827	81	+10.9%
営業利益率	5.3%	6.1%	—	—
経常利益	751	842	91	+12.2%
経常利益率	5.4%	6.2%	—	—
当期純利益	559	549	▲10	▲1.9%
当期純利益率	4.0%	4.0%	—	—
1株当たり 当期純利益	69.75円	68.45円	▲1.30円	—
R O E (自己資本当期純利益率)	11.5%	10.4%	▲1.1%	—

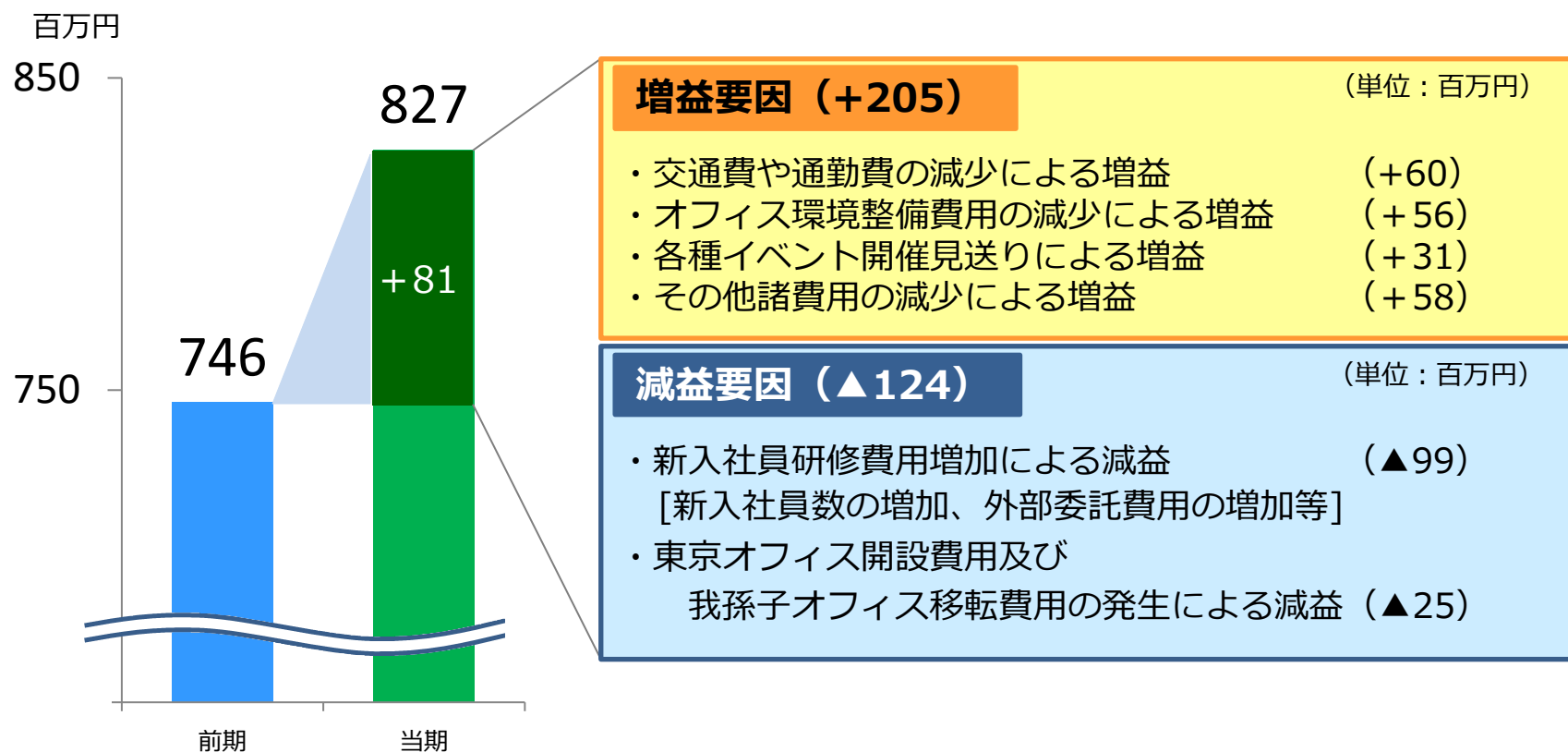
◇売上高は、サービス事業が好調に推移しましたがソフトウェア開発事業の減少が響き 136億72百万円（前期比 2.1%減）と減収になりました。

◇営業利益は、売上原価の減少により 8億27百万円（前期比 10.9%増）と増益になりました。

◇当期純利益は、前期において税制優遇制度の適用を受けていたことにより 5億49百万円（前期比 1.9%減）と減益になりました。なお、新型コロナウイルス感染症対策費用として40百万円を特別損失に計上しております。

2. 営業利益増減分析

2020年12月期 実績（前期比較）



◇ 営業利益の増加要因

新入社員研修費用の増加に加え、東京オフィス開設費用及び我孫子オフィス移転費用の発生があったものの、交通費や通勤費の減少、オフィス環境整備費用の減少、各種イベント開催の見送りによる費用の減少等があったことにより前期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2020年12月期 セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前期差	前期比	実績	利益率	前期差	前期比
ソフトウェア開発事業	10,694	78.2%	▲581	▲5.2%	1,565	14.6%	▲61	▲3.8%
通信ソフトウェア開発	2,323	17.0%	520	+28.9%	318	13.7%	106	+50.3%
制御ソフトウェア開発	2,721	19.9%	▲580	▲17.6%	411	15.1%	▲2	▲0.6%
業務ソフトウェア開発	5,649	41.3%	▲522	▲8.5%	836	14.8%	▲165	▲16.6%
サービス事業	2,926	21.4%	289	+11.0%	416	14.2%	85	+26.0%
ファシリティ事業	50	0.4%	▲3	▲6.1%	▲0	▲1.8%	▲12	—
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲1,153	—	69	—
合計	13,672	100.0%	▲295	▲2.1%	827	6.1%	81	+10.9%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、通信基盤の開発案件が増加し、売上高は前期比28.9%増、セグメント利益は前期比50.3%増と大幅な増収・増益になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、全般的に開発案件が減少し、売上高は前期比17.6%減、セグメント利益は前期比0.6%減と減収・減益になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、前年から続いた金融系の大型案件終了の影響等により、売上高は前期比8.5%減、セグメント利益は前期比16.6%減と減収・減益になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービス（構築・保守・運用・評価検証サービス）において社会インフラ及び官公庁並びに金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、ネットワーク構築案件、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件が好調に推移しました。また、自社プロダクトであるCyber Smartシリーズ製品（Cyber IP-PBX、Cyber CTI、Cyber Phone）では、クラウドサービスや年間保守の増加により堅調に推移しました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2019/12	当期末 2020/12	前期末差
流動資産	5,611	6,162	550
現金及び預金	829	919	90
受取手形及び売掛金	3,339	3,117	▲222 ①
商品	0	3	3
仕掛品	49	39	▲10
短期貸付金	1,297	1,994	697 ②
その他	95	87	▲8
固定資産	3,566	3,546	▲20
有形固定資産	2,544	2,540	▲3
無形固定資産	56	39	▲17
その他	965	966	0
資産合計	9,178	9,708	529
流動負債	2,198	2,096	▲101
買掛金	488	477	▲10
未払費用	432	275	▲156
未払法人税等	145	151	5
賞与引当金	636	632	▲4
役員賞与引当金	32	24	▲8
その他	462	535	72
固定負債	1,908	2,127	219
退職給付引当金	1,876	2,094	218
役員退職慰労引当金	31	32	0
負債合計	4,106	4,224	117
純資産合計	5,071	5,484	412
負債純資産合計	9,178	9,708	529

主な増減要因

- ①債権回収が進み減少
- ②CMS貸付金の増加

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

◇ご参考

	2019年12月末	2020年12月末
1株当たり純資産	632.31円	683.77円
自己資本比率	55.3%	56.5%

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント（前期比較）

（単位：百万円）

	前期 (19/01-19/12)	当期 (20/01-20/12)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	245	997	751
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲313	▲770	▲456
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲119	▲136	▲17
現金及び現金同等物の増減額	▲187	90	277
現金及び現金同等物の期首残高	1,017	829	▲187
現金及び現金同等物の期末残高	829	919	90

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

売上高は減少したものの、経費等の支出が減少したことによる税引前当期純利益の増加により9億97百万円の収入（プラス）となりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

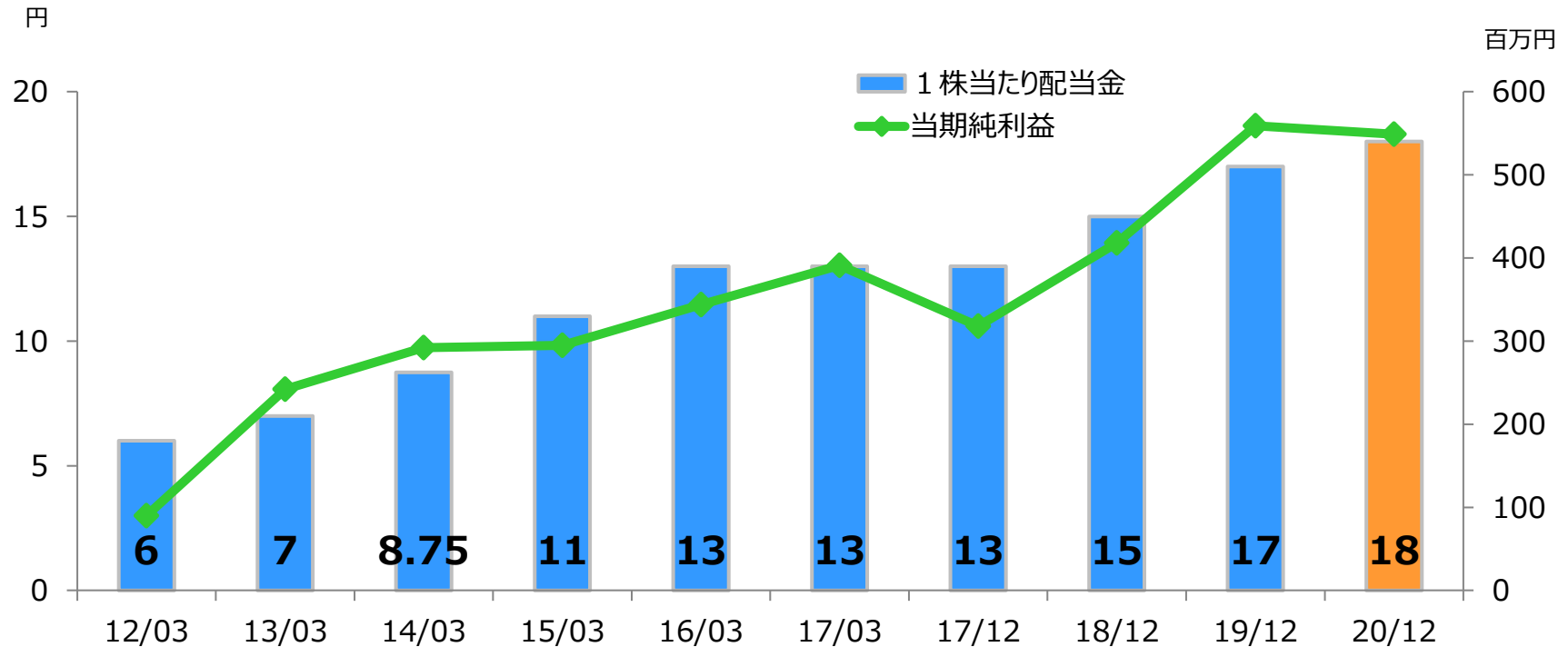
CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を利用した余剰資金の運用等により7億70百万円の支出（マイナス）となりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いを行い1億36百万円の支出（マイナス）となりました。

6. 株主還元

配当金（年間）：1株につき18円
（配当金総額：144百万円 配当性向26.3%）



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当期の利益配当につきましては、取締役会を決定機関として1株当たり18円の期末配当として決議しております。

Ⅱ. 中期経営方針と業績予想

1. 中期経営方針

2021年度より新3ヶ年中期計画を再スタート

2021~2023年度方針

『サイバーコムビジョン2023 ～増収増益の継続～』

1. 満足度の追求
2. サービス提供型ビジネスへの転換
3. 戦略的投資による拡大
4. 本部制活用による効率化

2021年度基本方針

「ビジネス改革！」

～オンライン時代の対応力強化～

2. 業績予想

2021年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (20/01-20/12)	業績予想 (21/01-21/12)	増減／増減比	
売上高	13,672	14,400	+727	+5.3%
営業利益	827	850	+22	+2.7%
営業利益率	6.1%	5.9%	—	—
経常利益	842	850	+7	+0.8%
経常利益率	6.2%	5.9%	—	—
当期純利益	549	572	+22	+4.2%
当期純利益率	4.0%	4.0%	—	—
1株当たり 当期純利益	68.45円	71.31円	2.86円	—

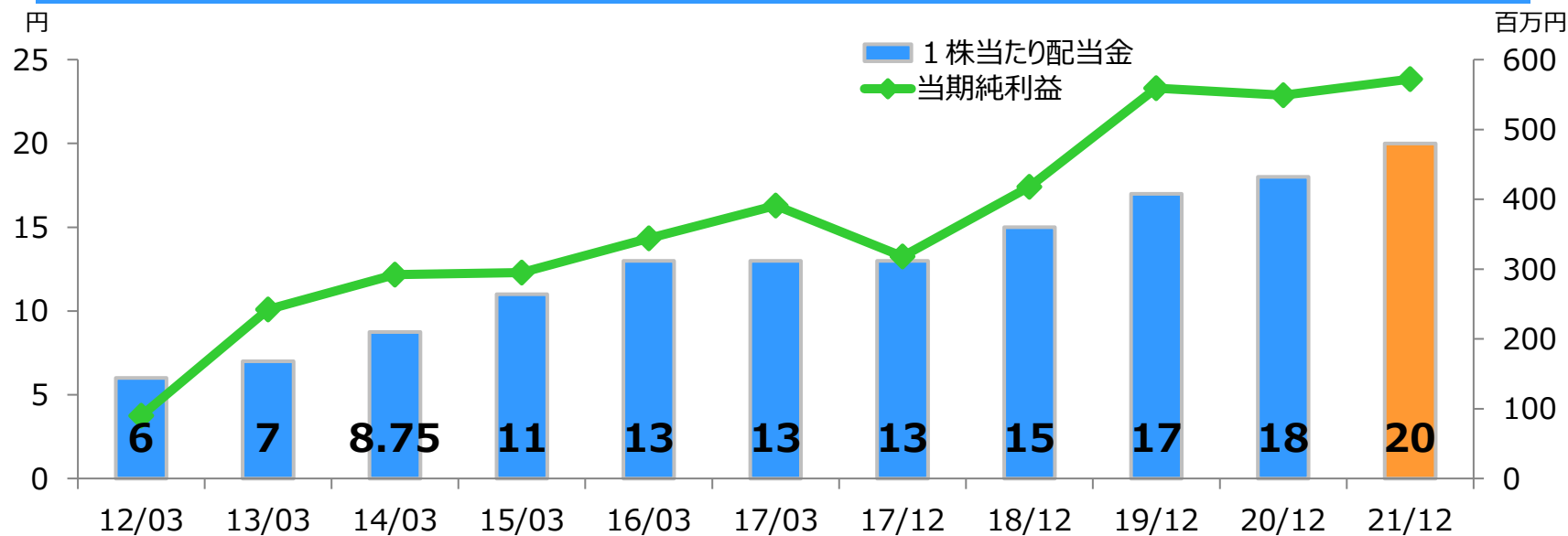
次期につきましては「ビジネス改革」を基本方針としており、オンラインを活用した事業活動を積極的に推進することにより、売上高としては144億円（当期比5.3%増）と増収を見込んでおります。

利益につきましては、技術者不足解消に向けて新卒及び中途採用施策の強化による人材確保や、新入社員研修及び技術教育の高度化による人材育成に加え、会社の信頼性向上に向けたセキュリティ対策の強化や働き方改革の推進に向けた費用を見込み、営業利益8億50百万円（当期比2.7%増）、当期純利益5億72百万円（当期比4.2%増）と増益を見込んでおります。

（※当期において新型コロナウイルス感染症対策費用として40百万円を特別損失に計上しております。）

3. 株主還元（予想）

配当金（年間）：1株につき20円
（配当金総額：160百万円 配当性向28.0%）



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための事業拡大、人材育成やオフィス環境整備などの戦略的投資に加え、情報セキュリティ強化への積極的投資、さらには、新製品及び新サービス創出のための研究開発投資やM & A等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、次期の利益配当につきましては1株当たり20円を予定しております。

III. 參考資料

1. 参考情報（セグメント別売上高）

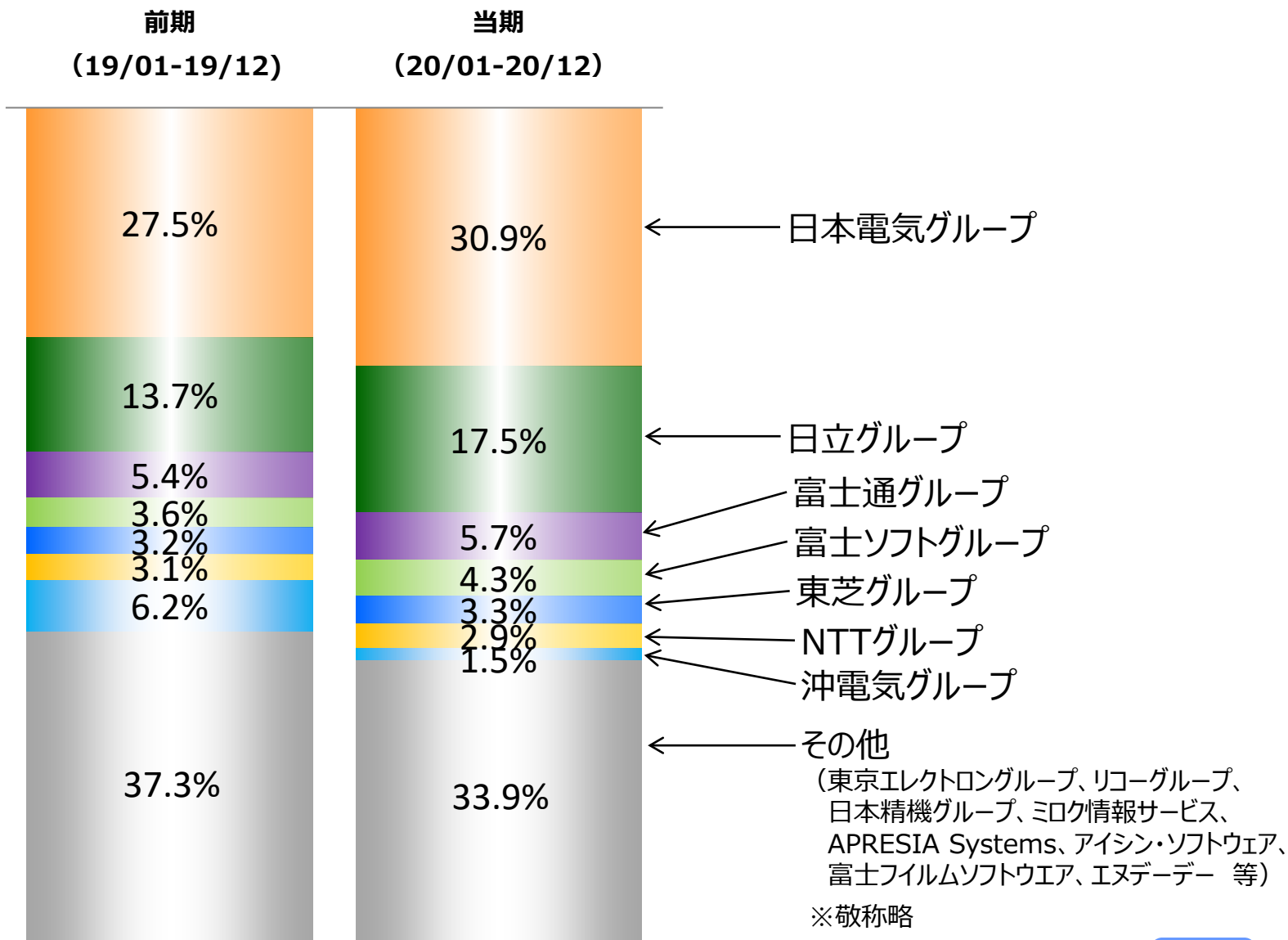
セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2019年12月期			2020年12月期			
	(2019年1月～12月)			(2020年1月～12月)			
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期差	前期比
ソフトウェア開発事業	11,276	80.7%	114.4%	10,694	78.2%	▲581	94.8%
通信ソフトウェア開発	1,802	12.9%	104.5%	2,323	17.0%	520	128.9%
通信基盤	1,249	8.9%	98.0%	1,785	13.1%	535	142.9%
その他通信	552	4.0%	123.2%	538	3.9%	▲14	97.4%
制御ソフトウェア開発	3,302	23.6%	98.0%	2,721	19.9%	▲580	82.4%
車載	1,912	13.7%	99.2%	1,560	11.4%	▲352	81.6%
その他制御	1,389	9.9%	96.5%	1,160	8.5%	▲228	83.6%
業務ソフトウェア開発	6,171	44.2%	129.5%	5,649	41.3%	▲522	91.5%
金融	2,257	16.2%	160.7%	1,637	12.0%	▲620	72.5%
公共	847	6.1%	151.1%	854	6.3%	7	100.9%
情報通信	742	5.3%	80.2%	893	6.5%	151	120.4%
製造	421	3.0%	104.0%	684	5.0%	263	162.5%
医療	545	3.9%	146.6%	596	4.4%	51	109.4%
エネルギー	397	2.8%	83.6%	325	2.4%	▲71	82.0%
その他業務	960	6.9%	154.0%	657	4.8%	▲303	68.4%
サービス事業	2,636	18.9%	122.5%	2,926	21.4%	289	111.0%
ファシリティ事業	54	0.4%	88.6%	50	0.4%	▲3	93.9%
合計	13,967	100.0%	115.7%	13,672	100.0%	▲295	97.9%

2. 参考情報（顧客別売上構成比）

顧客別売上構成比（前期比較）



3. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名称： サイバーコム株式会社 **Cyber Com CO.,Ltd.**

所在地： 本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34

設立： 1978年12月4日

代表者： 代表取締役社長 渡辺 剛喜

資本金： 3億99百万円

社員数： 1,108名（2021年1月末現在）

事業内容： ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2020年12月期の主なニュース

日付	内容
2020/11/12	国内最大級のコールセンター・CRM業界一大イベント「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2020 in 東京」に出展（～11/13）
2020/07/06	東京都内における営業機会を拡充し業容拡大を図るため「東京オフィス」を開設
2020/07/01	簡単に人・モノの動きを可視化する『Cyber Position Navi』を提供開始
2020/03/06	「簡単テレワーク『楽々セキュアコネクト』大幅な価格改定のお知らせ」を公表
2020/02/27	「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対策について」を公表（2020/05/15及び2020/06/30に対策継続を公表）
2020/01/01	組織体制を変更し管理本部、システム&ソリューション事業本部、インテグレーション&プロダクト事業本部の3本部制に再編

サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する

Cyber Com
サイバーコム株式会社

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。